

令和5年度

# 福島町議会

## 定例会10月会議会議録

令和5年10月13日 開会

令和5年10月13日 休会

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上、原稿校正は初校よりできなく、誤字、脱字がありましたら、深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

# 目 次

令和5年10月13日（金曜日）第1号

○議 事 日 程 .....	1 頁
○会議に付した事件 .....	1 頁
○出 席 議 員 .....	1 頁
○欠 席 議 員 .....	1 頁
○出 席 説 明 員 .....	1 頁
○職務のため議場に出席した議会事務局職員 .....	2 頁
○開会・開議宣告 .....	3 頁
○町 長 あ い さ つ .....	3 頁
○日程第1 会議録署名議員の指名 .....	3 頁
○日程第2 諸般の報告 .....	4 頁
○日程第3 行政報告 .....	5 頁
1 福島地区における断水について	
2 青森県仲泊町との包括連携協定の締結について	
〔各課所管事項について〕	
(1) 産業課の所管事項について	
○日程第4 議案第33号 福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例 (提案説明・質疑・意見交換・討議・討論・起立採決) .....	6 頁
○日程第5 議案第34号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号） (提案説明・質疑・意見交換・討議・討論・起立採決) .....	7 頁
○日程第6 同意第2号 副町長の選任について (提案説明・質疑・討論・起立採決) .....	10 頁
○副町長予定者あいさつ .....	12 頁
○日 程 の 追 加 .....	12 頁
○追加日程第1 宣誓第2号 副町長の宣誓について .....	12 頁
○退 任 あ い さ つ .....	13 頁
○休 会 の 議 決 .....	13 頁
○休 会 宣 告 .....	13 頁

## 提出案件及び議決結果表

議案番号	件名	議決月日	議決結果
33	福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例	10月13日	原案可決
34	令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号）	10月13日	原案可決
同意 2	副町長の選任について	10月13日	原案同意
宣誓 2	副町長の宣誓について	10月13日	宣誓済

令和5年度

## 福島町議会定例会10月会議

令和5年10月13日（金曜日）第1号

### ◎議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 諸般の報告  
日程第3 行政報告  
日程第4 議案第33号 福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例  
日程第5 議案第34号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号）  
日程第6 同意第2号 副町長の選任について  
追加日程第1 宣誓第2号 副町長の宣誓について

### ◎会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 諸般の報告  
日程第3 行政報告  
日程第4 議案第33号 福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例  
日程第5 議案第34号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号）  
日程第6 同意第2号 副町長の選任について  
追加日程第1 宣誓第2号 副町長の宣誓について

### ◎出席議員（9名）

議長	10番	溝部 幸基	副議長	9番	平野 隆雄
	1番	藤山 大		2番	杉村 志朗
	3番	佐藤 孝男		4番	小鹿 昭義
	5番	平沼 昌平		6番	木村 隆
	7番	熊野 茂夫		8番	（欠員）

### ◎欠席議員（0名）

### ◎出席説明員

町長	鳴海 清春	副町長	工藤 泰
総務課長	住吉 英之	企画課長	村田 洋臣
産業課長	福原 貴之	町民課長兼吉岡支所長兼会計管理者	深山 肇
認定こども園福島保育所園長	吉能 佳織	福祉課長	小鹿 浩二
建設課長	紙谷 一	福祉センター次長	（石岡 大志）
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター長	石岡 大志
監査委員	本庄屋 誠	監査委員	高田 重美

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

議会事務局長 鍋谷 浩行  
議会事務局議事係 角谷 里紗

議会事務局議事係長 福井 理央

---

(開会 10時00分)

---

## ◎開 会 ・ 開 議 宣 告

---

### ○議長（溝部幸基）

おはようございます。

ただいまから令和5年度定例会10月会議を開会いたします。

---

## ◎町 長 あ い さ つ

---

### ○議長（溝部幸基）

日程に入る前に申し出がありますので、町長のあいさつを行います。

鳴海清春町長。

### ○町長（鳴海清春）

定例会10月会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、定例会10月会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

厳しかった暑さも一段落し、山の木々が日一日と秋の深まりを見せてございます。改めて自然の営みの大きさを感じる日々であります。

最初に、9月28日に発生いたしました水道の漏水事故に関しましては、大変町民の皆様にご不便とご迷惑をおかけいたしました。9月30日未明に復旧作業を終え、早朝には給水を開始しております。この間、函館開発建設部や函館市企業局など関係機関はもとより、地元企業の皆様方の献身的なご協力に感謝とお礼を申し上げます。

さらに、この間の町民の皆様のご理解とご協力に、この場を借りて改めて感謝を申し上げたいと思っております。

さて、この4日から私の3期目がスタートしておりますが、9月26日に3期目の就任あいさつを兼ねて衆参両議員会館を回らせていただき、地元選出の逢坂誠二衆議院議員及び自民党女性局長に就任した高橋はるみ参議院議員並びに総務大臣政務官に就任した船橋利実参議院議員などとお会いし、イカの原料確保や過疎債の増額などを懸案事項の要請を併せて行ってきたところでございます。

それでは、今般の議案についてですが、総合計画の策定と運用に関する条例の一部改正が1件、一般会計の補正予算が1件、副町長の選任に関する議案が1件、及び計3件の案件のご審議をお願いするものでございます。

一般会計の補正予算の主なものですが、歳出において、このたびの夏の異常な暑さを受けて、生活支援ハウス及び小学校等に冷房設備を設置するための設計業務委託料及び岩部クルーズ救命いかだ2台購入に係る経費の追加となっております。

なお、条例の一部改正及び補正予算の内容を担当課長から説明し、そのあと人事案件に関しましては、私の方から説明をさせていただきますので、議決並びに同意くださるよう、お願いをいたしたいと思っております。

以上をもちまして、簡単ではありますが、開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

よろしくどうぞお願いいたします。

### ○議長（溝部幸基）

町長のあいさつを終わります。

---

## ◎会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

---

### ○議長（溝部幸基）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

5番平沼昌平議員、6番木村隆議員を指名いたします。

---

## ◎諸 般 の 報 告

### ○議長（溝部幸基）

日程第2 諸般の報告を行います。  
はじめに議会運営委員会の報告を行います。  
5番平沼昌平議会運営委員長。

### ○5番（平沼昌平）

令和5年度定例会10月会議の開会に際し、本日開催いたしました議会運営委員会の協議結果について、報告いたします。

まず、議事日程につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

次に、審議日数については、本日1日を予定いたしましたので、議事運営にご協力いただきますようお願いを申し上げ、報告に代えさせていただきます。

### ○議長（溝部幸基）

議会運営委員会の報告を終わります。

本定例会10月会議の議事は、ただいま議会運営委員長から報告がありましたように進めてまいります。

また、諸般の報告も既に皆様のお手元に配付のとおりでございますので、ご了承願います。

次に、第6次総合計画調査特別委員会の中間報告を行います。

9番平野隆雄特別委員長。

### ○9番（平野隆雄）

第6次総合計画策定調査特別委員会の中間報告について。

それでは、諸般の報告の6ページをお開きください。

10月4日に実施した調査事件について、報告書に基づき内容を説明いたします。

調査事件 第6次福島町総合計画策定に関する調査については、町から提示された基本計画案などについて、質疑・意見交換を行いました。

次に7ページです。

2. 調査の論点と意見としては、以下の点について、さらに検討を進めるよう意見がありました。

①次世代を育成し、つながり、学び合うまちづくり。

2-2 教育環境の充実。

入学者数が想定どおりに推移した場合、現在の青少年交流センターの部屋数では対応が困難となることが想定されるため、国や北海道など関係機関との協議等を行い、町外からの入学者受入れに支障が出ないよう早急に対応をお願いいたします。

②安心安全に暮らせるまちづくり。

4-1 町の基盤整備の推進。

この度の水道管の漏水は、老朽化によるものと想定されるが、他の水道管についても同様の可能性が危惧されるため、要因を分析した上で、水道管の調査・点検・更新を基本計画・実施計画で取組むよう検討を願います。

次に、4-7 地域生活を支える取組の推進。

町内会館等については、ほぼバリアフリー化されているが、福祉センターについては施設全体の老朽化もあり改修が先送りになっている状況にある。実施計画の展望計画においても方向性を示す必要があると思慮されるので検討願います。

③持続可能なまちづくり。

5-4 情報発信の充実。

現在、町ではYouTube や SNS での発信はしておらず、予定もないとのことだが、情報発信において有効な手段と考えられるため検討願います。

(2) 総括意見。

基本計画（案）の指標のうち、現状値の把握時期は統一すべきであり、全体的に見直し願います。

なお、本特別委員会として、基本計画（案）の内容等については一定の理解をしたが、今回示されたのは基本計画（案）であり、実施計画（案）については今後示される事になることから、当事件としては継



続審議とする。

以上、報告を終わります。

○議長（溝部幸基）

以上で、諸般の報告を終わります。

---

◎行 政 報 告

---

○議長（溝部幸基）

日程第3 申し出がありますので、行政報告を行います。

鳴海清春町長。

○町長（鳴海清春）

令和5年度福島町議会定例会10月会議の開催にあたり、定例会9月第2回会議以降の行政報告を申し上げます。

1 福島地区における断水について。

9月28日発生の水道漏水事故について、建設課において28日11時30分頃、送水量が急激に増え、岩部貯水池の水量が低下したことから漏水の発生を確認しております。

その後、漏水箇所特定の調査を進め、漏水箇所が岩部地区の白糸の滝から岩部市街までの間と絞り込みましたが、初期の発見から相当時間が経過し、貯水池の水量が底をつく可能性があるため22時から福島地区の断水を行っております。

29日早朝から調査を再開し、漏水箇所を推定することができましたが、漏水箇所を急斜面を保護するコンクリート擁壁の裏側のため、漏水箇所を目視できないこと、かつ、修理できない場所であることから、その区間を避けて仮設管を設置するバイパス工事を19時から22時の間で行い、工事完了後に排泥作業などを進め、30日4時50分に通水しております。

なお、断水から通水開始までの間に、家事など生活用の通水を2回実施しました。

また、その間の飲料水を確保するため、函館開発建設部及び函館市企業局に給水車の派遣を要請し、29日14時から18時までの間、青少年交流センター前広場及び海峽横綱ビーチ駐車場で給水車による飲料水の供給を実施するとともに、70歳以上の高齢者独居世帯に対して、職員がそれぞれの家庭を直接訪問し見守り及び飲料水の配布を行ったところであります。

この度の断水につきましては、町民の皆様にご多大なご不便とご迷惑をおかけし、改めて心からお詫びを申し上げます。なお、この間の町民の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、昼夜を問わずご尽力いただきました関係者の皆様にご感謝申し上げます。

今後につきましては、本格的な復旧に向けて関係機関と協議を進めながら、対策を講じてまいります。

2点目の、青森県仲泊町との包括連携協定の締結について。

10月5日、当町において、これまで千代の富士杯争奪相撲大会等を通じて子どもたちの交流がありました、青森県仲泊町と包括連携協定を締結しました。

この度の協定では、社会情勢の変化に応じた経済の活性化及びスポーツ交流などを通じた人材育成と第2青函トンネル構想の実現に向けた取り組み等において、相互の強みを最大限生かしながら連携していくことを目的としております。

続きまして、各課所管事項についてご報告いたします。

1点となります。

(1) 産業課の所管事項について。

9月24日に東京都で開催された九重部屋の千秋楽打ち上げパーティーに出席し、九重親方へ夏合宿のお礼と次年度の実施に向けた意見交換をさせていただきました。

なお、次年度の夏合宿については、九重親方からは引き続き実施したい旨の発言があり、当町では、横綱記念館等の関係施設に係る暑さ対策などの環境整備に万全を期す旨の報告をしてきたところであります。

町の主な主催事業及び行事等については、別に記載してございますので、ご参照いただきたいと思います。

以上で、簡単でありますけども行政報告を終わります。

○議長（溝部幸基）

以上で、行政報告を終わります。

---

◎議案第33号 福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例

---

○議長（溝部幸基）

日程第4 議案第33号 総合計画の策定と運用に関する条例の一部改正を議題といたします。  
提案理由の説明を求めます。

村田洋臣企画課長。

○企画課長（村田洋臣）

それでは、議案の5ページをお開きください。

議案第33号 福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例。  
福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和5年10月13日提出、福島町長。

議案の5ページ下段は、新旧対照表となっております。

内容につきましては、別冊2の議案説明資料でご説明させていただきます。

議案説明資料の5ページをお開き願います。

1、提案の理由。

第6次福島町総合計画の策定にあたって、実施計画の運用について重点及び大型事業など政策的な事業に力点を置くことで、事務作業の効率化を図るため、当該条例を改正しようとするものであります。

2、改正の内容。

実施計画に新規で掲載する事業の規模（事業費）及び計画変更の基準について、次のとおり見直しを図るものです。

（1）新規掲載事業の基準としまして、アのハード事業は、単年度事業費が300万円以上（備品購入費については1件100万円以上）、又は4年間の事業費総額が1千万円以上の事業を掲載することとし、イのソフト事業は、単年度の事業費が200万円以上の事業を掲載するものといたします。

（2）計画変更の基準としまして、計画掲載後の変更は、事業費に200万円以上の増減が生じた事業を対象といたします。

3、施行期日。

この条例は、公布の日から施行します。ただし、第5次福島町総合計画（平成28年度から令和5年度）については、改正前の規定を適用いたします。

この度の改正につきましては、9月26日、12名の委員の出席により開催された福島町総合計画審議会において、ただいまご説明いたしました内容について承認いただいておりますことを申し添えます。

以上で、福島町総合計画の策定と運用に関する条例の一部を改正する条例についての説明を終わります。  
ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（溝部幸基）

提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

質疑なしと認め、質疑を終わります。

説明員との意見交換を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

意見交換を終わります。

討議を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討議なしと認め、討議を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。

議案第33号を決することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（溝部幸基）

起立全員であり、議案第33号は可決いたしました。

---

◎議案第34号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号）

---

○議長（溝部幸基）

日程第5 議案第34号 令和5年度一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

住吉英之総務課長。

○総務課長（住吉英之）

それでは、議案の7ページをお開き願います。

議案第34号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第5号）。

令和5年度福島町の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第1条で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,106万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ55億1,075万5千円とする。

令和5年10月13日提出、福島町長。

それでは、まず歳出からご説明いたしますので、議案説明資料の7ページをお開き願います。

上段の、2款総務費、1項17目ふるさと暮らし応援事業費、事務事業予算名、定住促進住宅等奨励事業費で150万円の追加は、住宅リフォーム補助金については6月会議及び9月会議において、予算に不足が生じたことから追加していただいたところでございますけれども、現在の申請状況及び相談等の状況を勘案し、今後も不足が生じるため、5件、150万円を追加するものでございます。なお、只今のところ申請件数が30件となっているような状況となっております。

次の段でございます。

3款民生費、1項5目生活支援ハウス管理運営費、事務事業予算名、生活支援ハウス改修事業費で200万円の追加は、生活支援ハウスへの冷房設備設置に係る調査及び設計の追加で、この夏の記録的猛暑となったことを踏まえ、入所者の熱中症対策のため整備を進めるものでございます。

次の段をお願いいたします。

7款商工費、1項3目観光費、事務事業予算名、岩部海岸わくわくクルーズ事業費で286万円の追加は、令和4年4月に発生しました知床遊覧船事故を受けて開催された知床遊覧船事故対策検討委員会において、改良型小型いかだ等非常用位置等発信装置といった安全設備の導入が必要とされたところでございます。旅客船の総合的な安全・安心対策を迅速に講じることの必要性に鑑み、岩部クルーズにおいても当該装備品を整備するものでございます。なお、国においては安全設備の早期導入を図るため、国庫補助金制度を創設し公募を行うこととしており、補助案件につきましても補助採択となった場合は財源振替を予定しているものでございます。

次のページをお願いいたします。

10款教育費、1項3目教育振興費、事務事業予算名、教育施設等冷房設備設置事業費で470万円の追加は、小中学校及び福祉センターへ冷房設備設置に係る調査及び設計の追加で、この夏の記録的猛暑となったことを踏まえ、児童生徒の熱中症対策及び九重部屋夏合宿の対応のための整備を進めるものでござ

います。

次に、歳入をご説明いたしますので、6ページをお願いいたします。

17款繰入金、2項1目財政調整基金繰入金で、1,106万円の追加は、今回の補正に係る財源調整による増額で、これにより今年度の財政調整基金からの繰入額は1億5,488万1千円となります。

以上で、議案第34号 令和5年度一般会計補正予算（第5号）の提案内容について説明を終わります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（溝部幸基）

提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

1番藤山大議員。

○1番（藤山大）

議案説明資料の7ページ、定住促進住宅等奨励事業。その次には生活支援ハウス改修事業もそうですが、8ページの教育施設冷暖房施設に関連して、このたび一般質問で冷房のことで質問させていただきました。今回、予算つけてもらいありがとうございます。

それと、ここの部分で優先順位をもって、ある程度つけていくというような町長の発言もありました。その中で今回3つの施設としては分かるのですが、庁舎とか横綱記念館、優先順位はあるとは思いますが、その辺の検討はされたのかお伺いしたいと思います。

○議長（溝部幸基）

紙谷建設課長。

○建設課長（紙谷一）

優先順位については、一般質問で町長と議員のお話しのとおり小学校、中学校、あと高齢者。今ちょっとここにはまだ予算的には提示しておりませんが、横綱記念館については今はまだ随時調査中、また来年の夏までに実現可能かどうかについても、これから設計事務所の方とも現場を見てもらってというようなことで進んでおります。

○議長（溝部幸基）

鳴海清春町長。

○町長（鳴海清春）

今年の夏は本当に我々も経験したことのないような暑さでございますので、これが多分、地球温暖化の関係で続いていくだろうなという想定はしているところであります。

ただ、冷暖房については、議員ご承知のとおり、なかなか補助制度がきちんと決まっていない状況のなかで、全体をまず把握するという考えもあるんでしょうけども、それをしていると来年の分が間に合わない可能性がありますので、我々はきちんと整理するのは新年度予算でしっかり予算をいただいて整理しようかなと。今回は、まずは一番急ぐところの高齢者、小学生を来年の夏になんとか良い環境で過ごしたい。それにはやはり物品の調達も含めて、かなりタイトな厳しいスケジュール、争奪戦になりますので、それで今回あえて補正予算でお願いした経緯もありますので、まず急ぐところを優先的に補正でやらせていただいて、新年度予算のなかでまた改めて全体的なお話しなり予算をお願いする形になるだろうと思って、今回はそういう検討の中で整理をさせていただきました。

○議長（溝部幸基）

よろしいですか。

そのほか質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

質疑なしと認め、質疑を終わります。

説明員との意見交換を行います。

7番熊野茂夫議員。

○7番（熊野茂夫）

今の冷房設備の関係で、新年度の予算の中で再度また検討するようなことと、いわゆる全道的にも全国的にも非常にこの需要が多いということで、なかなか優先順位決めてやっていかないと、そこに対応がで

きないんだろうなという風にして思うんですけども。

それで優先順位の関係ですが、学校の教育環境、教室等々、学習環境のことを1つ。それから横綱の話、今1番議員からも出てましたけども、そのほかにですね、こども園の状態が全館なっているのかどうか。それともう1点、夏場の火葬場の待合室の関係。この辺は非常にやはり暑さが堪えるようなところなのか。非常に時間的にも待たなければならないということで。それこそ霊安室、そこは付いているみたいなのですが、待合室の関係、この辺についてはどうですか。

○議長（溝部幸基）

吉能認定こども園福島保育所園長。

○認定こども園福島保育所園長（吉能佳織）

こども園ですけども、子ども達のいる保育室と併設されている子育て支援センターにはエアコンの完備はされております。ただ、一番広い部屋、遊戯室とって全体で遊ぶ所は、今のところはまだ付いていません。ただ、暑いときには付いている部屋を利用したりとか、あとは遅番の時には子育て支援センターを利用させていただいたりとか、うまくその暑い猛暑を切り抜けているような状態でおります。

○議長（溝部幸基）

深山肇町民課長。

○町民課長（深山肇）

火葬場につきましては、待合室は炉前ホールというホールの方の戸を開けて、待合室の方に空気を送ったり冷気を送っている状況なんですけども、玄関の自動ドアとかの開け閉めが結構激しいものですから、エアコンの必要性は感じており要望しております。

○議長（溝部幸基）

7番熊野茂夫議員。

○7番（熊野茂夫）

だいたい状況分かったんですが、今言った認定こども園、本来であれば今年の夏のことを考えますと、いわゆる全館、全面的に設備しておくのが早めにやった方がいいのかなと思うことと、それと火葬場の方については、今自動ドアの話しされましたけども、あそこは確か二重扉になっていますよね。自動扉の所と中の所と。そうであれば、中の所だけでも冷房設備はしておいてもいいのかなと。

ただ、設備投下の所では費用が掛かるとは思いますけども、現実には夏場になって、使わなければ温度が上がらなければそれは入れなければいい話であって、いわゆるランニングコストの問題ではそれはそれなりに対応できるかと思えますので、できれば今の2点については優先的に検討していただきたいと思えます。

○議長（溝部幸基）

鳴海青春町長。

○町長（鳴海青春）

ご意見いただきまして、ありがとうございます。

先ほど言いましたとおり、なかなかやはり、エアコンだけ買うのであればそんなに予算伴わないんですけども、例えば調査一つとっても相当な冷房施設を付けるにあたって、当然、配管から何から全部見直すという形になりますので、やはり1千万オーダーとか何千万オーダーになりますので、簡単に右から左に予算がつくかと。これがまた財源があればいいんですけども、なかなかこのこういった物については財源措置がされないというのが一般的でありますので、教育設備については、教育長含めて一生懸命国の方に要請して、ある程度そういった考えも今少しずつ出て来てますけども、多分ほぼほぼ、この手のものについては財源というのは生みにくい状態でありますので、やはり、優先的にやれるものから順次やっていく形で、ある程度、総枠予算と財源を調整しながら、そこは議会の方とまた相談しながらやっていくと思えますので、また、来年も暑くなると思えますけども、できれば涼しくなって欲しいというのが我々の想いですけども、ただ、これからは北海道もこの前も少し国の方ともお話ししてきましたけど、やはり、もうそういう時期に来ているんだなど。これまで学校だけ見ても本州はほぼほぼある程度整備されて、北海道だけが無いという状況ですので、ただやはり、北海道は反対に冬は寒いという状況の中で、夏もこういう状況であれば、やはり北海道特例ではありませんけども、やはりきちっとしたそういう遅れているところを整備するためには、国なり北海道の支援が必要ですねということを我々も声としてやってやってお

りますので、これからまた今月、来週・再来週かけて国なり北海道の方に伺うことがありますので、そういった声を届けながら、まずはしっかり財源探しをしながら、なるべく議会からいただいた意見に沿うような形をやって行きたいと思っております。ただ、何分そういう事情がありますということだけ理解をお願いしたいと思います。

○議長（溝部幸基）

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時34分）

（再開 10時34分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

鳴海清春町長。

○町長（鳴海清春）

役場職員にご配慮いただきまして、ありがとうございます。

ただ、我々はやはり町民を第一優先にしていますので、まず、町民が利用するところを優先的にやらせていただくのが筋ではないのかなと。確かに役場も今年の状況を見ると、かなり職員もきつい状況があります。ただ、先ほど言いましたとおり、役場庁舎をやるとなると相当な、多分、極端にいくと福祉センター全館か役場庁舎かなという感じになるんだと思っていますので、まずはやはり町民を優先するというのが私の考えでありますし、行政として一番の務めではないのかなと思っています。そこは少し職員に怒られますけれども、我慢をさせていただいて、ただそうは言っても、そんなにそんなに投げておくことには出来ないし、当然、事務効率が悪くなりますので、そここのところで町民の皆さんに迷惑を掛けるということになると本末転倒になりますので、そこはきちっとまた状況を踏まえて整理をさせていただければなと思っています。

○議長（溝部幸基）

そのほか意見交換ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

意見交換を終わります。

討議を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討議なしと認め、討議を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。

議案第34号を決することに賛成の方は起立をお願いします。

（賛成者起立）

○議長（溝部幸基）

起立全員であり、議案第34号は可決いたしました。

---

◎同意第2号 副町長の選任について

---

○議長（溝部幸基）

日程第6 同意第2号 副町長の選任を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

鳴海清春町長。

○町長（鳴海清春）

議案の23ページをお願いいたします。

同意第2号 副町長の選任について。

副町長に次の者を任命したいので、議会の同意を求めるものであります。

令和5年10月13日提出。

住所、福島町内在住。氏名、小鹿一彦。年齢60歳となっております。

小鹿一彦氏について、若干補足説明をさせていただきます。

同意第2号関係資料にありますとおり、昭和56年4月に福島町役場に入庁され、保健年金課国民健康保険係を振り出しに、水道課及び教育委員会社会教育課等を経て、平成8年4月に北海道庁市町村課へ派遣されてございます。

平成9年4月に企画財政課財政係、平成13年4月に町づくり推進室町づくり推進係長、平成16年4月からは私と共に松前町・福島町合併協議会に派遣されております。

帰庁後の平成25年10月に総務課参事、その後、出納室長、企画財政課財政グループ参事などを歴任し、令和元年10月から総務課長となり、令和5年3月に退職しております。

現在は定年退職し、再任用職員として総務課財政係長の職にあります。

小鹿氏は主に財政畑を中心に幅広く福祉・産業・教育分野を経験しており、また、私や小野寺教育長とともに松前町と福島町の厳しい合併協議も経験してきたところでございます。

さらに、道庁研修時代の人脈も多くあり、加えて私が町長就任以来、企画財政課参事及び総務課長として厳しい財政運営を担っていただいたところでもございます。

人柄につきましても、誠実、温厚かつ勤勉であり、副町長の選任にあたって、同意くださるようお願いを申し上げます、簡単ではありますが、提案にあたっての説明とさせていただきます。

よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（溝部幸基）

提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

お諮りいたします。

同意第2号について、同意することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（溝部幸基）

起立全員であり、同意第2号は決定いたしました。

暫時休憩いたします。

（小鹿一彦総務課財政係長入場）

---

（休憩 10時39分）

（再開 10時40分）

---

○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

---

## ◎副町長予定者あいさつ

---

### ○議長（溝部幸基）

申し出により、副町長に選任されました、小鹿一彦さんの挨拶を行います。

### ○副町長予定者（小鹿一彦）

ただいま副町長の選任同意をいただき、心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

私は、役場に奉職し、町職員として40数年となりますが、議員の皆様には、今まで温かいご厚情とご指導賜りながら、業務にあたらせていただいたことに対し、重ねてお礼申し上げます。

今後は、副町長として責務を務めるにあたり、町長を先頭に職員一丸となり、町発展と住民生活の安定のため、全力をもって誠心誠意取り組む所存でございます。

議長はじめ議員の皆様におかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

### ○議長（溝部幸基）

副町長に選任されました、小鹿一彦さんの挨拶を終わります。

暫時休憩いたします。

---

（休憩 10時42分）

（再開 10時43分）

---

### ○議長（溝部幸基）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

---

## ◎日 程 の 追 加

---

### ○議長（溝部幸基）

お諮りいたします。

鳴海清春町長から、宣誓第2号が提出されました。

これを日程に追加し、追加日程第1として、議題にいたしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

### ○議長（溝部幸基）

ご異議なしと認めます。

宣誓第2号を日程に追加し、追加日程第1として、議題とすることに決定いたしました。

---

## ◎宣誓第2号 副町長の宣誓

---

### ○議長（溝部幸基）

追加日程第1 宣誓第2号 副町長の宣誓を議題といたします。

副町長に選任されました、小鹿一彦さんから中央演壇で宣誓願います。

### ○副町長予定者（小鹿一彦）

それでは、追加議案の5ページをご覧ください。

宣誓第2号 副町長の宣誓。

福島町まちづくり基本条例第15条の規定に基づき、副町長就任時の宣誓を行います。

宣誓、私は、地方自治の本旨に則り、福島町まちづくり基本条例の理念である「町民自らがまちづくりに参画、協働することによる住民自治の実現」を図るため、職員との連携を図り、公正かつ誠実に全力を挙げて副町長の職務を遂行することを誓います。

令和5年10月13日、副町長予定者、小鹿一彦。



○議長（溝部幸基）

副町長に選任されました、小鹿一彦さんの宣誓を終わります。

---

◎退 任 あ い さ つ

---

○議長（溝部幸基）

以上で案件の審査は終わりましたが、申し出により、10月20日付で退任されます工藤泰副町長の挨拶を行います。

工藤泰副町長。

○副町長（工藤泰）

挨拶の機会をいただき、誠にありがとうございます。

10月20日の任期満了をもちまして退任いたしますので、一言お礼の挨拶を申し上げます。

顧みますと昭和53年に福島町に奉職以来、45年の長きに亘り大過なく今日に至りましたことは、鳴海町長をはじめ、先輩、同僚の皆さん、そして議長をはじめ、議員の皆様の公私に亘る温かいご厚情とご指導があったればことと感謝に堪えない次第であります。心からお礼申し上げます。

この間、さまざまな出来事がありました。町村合併協議その後の自立プランによる自立への選択、直近では高校存続など、そのほか多くの課題がありましたが、若い頃は先輩に助けられながら業務を遂行してまいりました。

また、管理職になってからは、1年目の平成24年、介護保険会計の赤字による借り入れ。そして、今年度吉岡温泉は建設中ですが、温泉の建て替え計画の中止など大変苦慮したことが思い出されます。また、副町長就任後は新型コロナウイルス感染症の影響で3年ほど行事等の中止、縮小などの行政運営となりましたが、徐々に通常へと戻ってきております。

国全体の人口減少、少子高齢化が進み、当町の過疎化にも歯止めがかかっておりませんが、まちづくり工房の岩部クルーズ観光やアワビの陸上養殖など新たな産業の芽も育ってきております。

今後も、町、議会、町民の三者が協働し、さらなる福島町の発展と皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、お礼の挨拶といたします。

長い間、本当にありがとうございました。

○議長（溝部幸基）

工藤泰副町長の退任挨拶を終わります。

---

◎休 会 の 議 決

---

○議長（溝部幸基）

お諮りいたします。

10月会議に付議された案件の審議をすべて終了いたしましたので、会議条例第10条の規定により、令和5年度定例会を休会いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）

ご異議なしと認めます。

令和5年度定例会は、本日で休会することに決定いたしました。

---

◎休 会 宣 告

---

○議長（溝部幸基）

これで本日の会議を閉じます。

どうもご苦労様でした。

---

（休会 10時48分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

北海道松前郡福島町議会

議 長 溝 部 幸 基

署 名 議 員 平 沼 昌 平

署 名 議 員 木 村 隆